

株式会社福井銀行



様々な金融商品やサービスをご提供するとともに、時には“金融”という枠にとらわれることなく、地域のあらゆる課題解決に向けて取り組んでいます。

福井県の「地方創生」を担うリーディングバンクとして、地元の経済の発展に貢献。

福井銀行の仕事の現場では、行員一人ひとりが「福井の人のために」毎日働いています。各営業店の業務内容も、窓口や資産運用、営業など多岐にわたり、時には専門的な部署と帯同しながら、目の前にいるお客様に親身になって対応をしています。また、福井銀行では行員間でのコミュニケーションが意識されています。些細な事に対しても気軽に声をかけ、各人が抱えている想いや悩みを聞ける環境づくりは職場のより良い雰囲気にも繋がっています。

銀行での仕事はお客様の層が限定されることなく、多くの人の人生の一

部に関与する仕事です。その中で、福井銀行は福井の地方銀行として、福井の人々の暮らしを支えるためのお手伝いをしています。

社会の変化に合わせて、人々が銀行を利用する目的や相談内容は日々多様化しています。福井銀行はそれらのニーズの変化に対応し、目の前のお客様の課題解決や夢の実現に向け、人の人生・会社の経営で無くてはならない「お金」に関する、最適な解決策をご提案しています。また、福井駅前の再開発事業への関与や伝統産業を含めた地域産業の育成・発展に向けた取り組みを通じて、地元・福井のまちづくりや経済の活性化に貢献しています。

Q&A

管理職の方

Q.どのような人材を行員として求めていますか？

A. 福井銀行が企業理念として掲げている「地域産業の育成発展と、地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」に強く共感し、福井県をはじめとする地域の活性化に向けて全力で取り組んでいく人材を求めています。

Q.他社に負けないPRポイントについて教えてください。

A. 福井銀行で働く「人材」が他社に負けないPRポイントです。福井銀行が目指すのは「お客さまが「そばにいてほしい」と思う日本一の銀行」、つまり「お客さまに心から信頼され支持される銀行」です。そのためにも行員一人ひとりが高い意識を持ち、前向きに日々の業務に取り組んでいます。

Q.職場や行員の皆さんの働いている様子について教えてください。

A. 福井銀行には、福井の経済や活性化への貢献に熱意を持った人が集まっています。職場はアットホームな雰囲気、基本的にはチーム単位で和気あいあいと仕事をしています。また、各部署の本部が置かれている新本社では、その日の働き方に応じて働く場所を変えられるフリーアドレスという働き方が導入されています。

Q.貴行が時代に合わせて変化を続けているように感じるポイントがありますか？

A. まず、福井駅西口再開発事業への関与やキャッシュレス社会への対応など、時代の変化に合わせたサービス内容の充実が挙げられます。多様化するお客様の要望に合わせて、多くのソリューションを提案するため、商品のラインナップを増やし、どんな悩みであってもご対応できるようにしています。また、働き方に関しても、オフィスカジュアルやテレワークなどを導入し、柔軟に働ける環境がつけられています。

Q.どんな時に入社してよかったと思いますか？

A. 福井銀行では、個人のお客様や経営者様など様々な出会いがあります。人との出会いをもとに、課題の解決に向けて自分自身も勉強しながら、お客様に喜んでいただけた時や自己の成長が感じられた時にこの仕事の魅力を感じます。また、それがやりに繋がっています。

若手社員

若手社員からのメッセージ



経営企画グループ 人材開発チーム

鈴木 沙織さん

入社9年目 福井県出身、関西の大学に進学後、新卒で福井銀行に入社。

目の前のお客様に対してご支援させていただいた結果として、福井の発展に携われることや地元の人役に立てていることは喜ばしいことだと感じています。また、福井は人と人との距離感が近く、お客様と信頼関係を構築でき、喜んでいただけている姿を直接見たり、福井に貢献できていると実感できたりすることは福井銀行で働く良さだと思っています。将来、共に働くことを楽しみにしています。

< 1日の流れ >

- 8:20 出社
- メール、通達、説明会予約状況等をチェック
- 9:00 入行式企画打ち合わせ
- 10:00 個別企業説明会運営
- 12:00 昼食
- 13:00 学内WEB説明会参加
- 15:00 2年目フォローアップ研修
- 行員面談
- 面談内容記録
- 16:40 退社

取材したい



三上真依さんの取材後記

鈴木さんが入社して知識や経験がまだ少ない中、目の前のお客様に対して最も良い形のご提案を、と試行錯誤した経験から福井銀行での仕事は商品を販売するだけの仕事ではないと感じられたという言葉が印象に残りました。お客様がどのような悩みを持ち、それをどのように解決していくか、常にお客様のことを考えながら働かれている様子に感銘を受けました。